

## 保育計画成果報告書

法人名等	医療法人 森玄会
施設名	みらいの森保育園
報告者（役職）	大熊三代子（園長）
住所・連絡先	栃木県宇都宮市雀の宮 6-5-5
	☎ 028-689-9738 E-mail mirainomori@shingenkai.or.jp

○タイトル（保育計画）

戸外での自由遊びがもたらす非認知能力発達促進

○主な助成備品

砂場・大型複合遊具

### 1. 保育計画策定の目的

当園は平成28年6月1日、医療法人の介護事業への参入に伴う女性職員の雇用促進を目的として併設された未満児対象の事業所内保育所(園)です。介護施設の運営を前提とした用地準備や建設だったため、子供たちにとってよりよい環境が用意できず、近隣の公園までの道のりは子供たちの足では遠く、集中している遊びから引きはがし帰園することは保育士としても心痛む思いでした。

砂場や遊具を設置することにより、公園への行き帰りの時間を子供たちの遊びの時間にあてることや、道中の子供たちへの危険を取り除くことを目的としました。



## 2. 具体的な実施内容

### <砂場>

0歳児：サラサラとした砂に触れることにより、感触遊びを促した。

1歳児：砂に水を混ぜるなど、感触の変化を経験させ興味の幅を広げるよう促した。

2歳児：穴を掘る・山を作る・湿らせた砂で形を作るといった経験を通して、深さ・高さ・大きさなどの感覚を養えるよう促した。

### <大型複合遊具>

0歳児：遊びを通して楽しみながら足腰を鍛え、バランス感覚を養うよう促した。

1歳児：階段を登る・窓から外をのぞく・トンネルをくぐるといった自由な探索活動を通して、知的好奇心を満たすよう促した。

2歳児：遊びを通して順番を待つ・譲り合うといったルールやマナーを身に着けるよう促した。





### 3. その成果と評価

砂場と大型複合遊具を設置し、集中して遊べる時間が増え、遊びを通して創意工夫し、新たな発見や楽しみを見つけることによって得られる自己肯定感や自信、また、遊具を他者と共有することによって得られる協調性や相手を思いやる心をより早く身につけられるようになった。

よって、砂場と大型複合遊具の設置による子供たちの非認知能力発達促進において、園として期待していた以上のものが得られた。

### 4. 今後の課題と展望

今後の課題としては、より広い心で相手を思いやれるような保育内容の充実を心がけていきたい。

今後の展望としては、簡易砂場から本格的な砂場への移行を行っていきたい。

以上